

地域シンポジウム “沖永良部の近現代”

法文学部法経社会学科経済コース 准教授 澤田 成章

本センターは、法文学部澤田ゼミと共催で令和5年3月27日、和泊町役場結いホールにて地域シンポジウム“沖永良部の近現代”を開催いたしました。

第1部の「大学生の部」では、法文学部澤田ゼミ学生によるポスターセッションが開催されました。合計7枚のポスター（「島バナナ探検隊プロジェクトご紹介」「島バナナ探検隊@内城小学校結果報告」「島バナナを使ったビジネスモデル」「沖永良部の養豚が失われた歴史的背景」「給食センターの島内産品使用率」「公用車の効率的・効果的マネジメント」「少人数小中学校が抱える課題と今後の調査計画」）が展示され、来場者と大学生がポスターの前で真剣に議論する姿が見られました。

第2部の「研究者の部」では、4名の研究者が沖永良部研究の進捗について報告しました。まず西村知副センター長が、ニシムラ・ジョアン（人文社会科学研究所附属地域経営研究センター）、アロンドラ・スリット・ゲイル（フィリピンポリテクニク大学）、日高優介（「鹿児島県の近現代」教育研究センター）との調査結果「沖永良部における外国人労働をめぐる現状と展望」を報告しました。続いて澤田が「和泊町学校給食センターの島内産品使用の実態と構造的課題」について報告しました。日高優介特任助教は「沖永良部出身の医師たちについて」について報告しました。鈴木優作特任助教（「鹿児島県の近現代」教育研究センター）「一色次郎調査報告」では、沖永良部島出身の作家一色次郎の足跡と創作の源泉を辿る調査の成果が報告されました。

シンポジウムの様子は和泊町役場・知名町役場にも Zoom 中継されました。業務の合間に顔を出していただいた役場職員の

方々も含めると、現地の来場者だけで延べ40～50名の参加がありました。シンポジウムの最後は西村副センター長からのタピオカケーキの差し入れを囲む時間が用意されるなど、リラックスしたムードの地域シンポジウムとなりました。

The poster features a dark background with white and light blue text. On the right side, the title '沖永良部の近現代' is written vertically in a large, stylized font. Below the title, the event details are listed in a structured format. At the bottom right, there is a box containing the date '2023 3/27' and the time '13:00~16:00'. The location is '和泊町役場結いホール'. At the bottom left, there is a logo and contact information for the organizing center.

Program

13:00 開会挨拶
「鹿児島県の近現代」教育研究センター
センター長 丹羽 謙治

13:10 第Ⅰ部 大学生の部 (ポスターセッション)
島バナナ調査隊プロジェクトご紹介 橋本 直太 (2年)
島バナナを使ったビジネスモデル 宮田 隆 (3年)
沖永良部の養豚が失われた歴史的背景 飯塚 麗奈 (4年)
給食センターの島内産品使用率 中吉 真仁 (4年)
公用車の効率的・効果的マネジメント 米田 亜音 (2年)
少人数小中学校が抱える課題と今後の調査計画 平田 稜 (3年)

13:40 フリーディスカッション
休憩

14:20 第Ⅱ部 研究者の部
鹿児島大学法文学部 教授 西村 知
鹿児島大学法文学部 准教授 澤田 成章
鹿児島大学法文学部附属「鹿児島県の近現代」
教育研究センター 特任助教 日高 優介
鹿児島大学法文学部附属「鹿児島県の近現代」
教育研究センター 特任助教 鈴木 優作

15:45 閉会挨拶と今後の展望について
「鹿児島県の近現代」教育研究センター
副センター長 西村 知

日時・場所
2023
3/27 月
13:00~16:00
和泊町役場結いホール

**参加無料
入退室自由**

主催：「鹿児島県の近現代」教育研究センター
鹿児島大学法文学部経済コース澤田ゼミ
お問い合わせ：sawada@leh.kagoshima-u.ac.jp

